

スマートジャパンの運用状況

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

2019年4月12日

◆ 当ファンドは、4月8日に第10期（2018年10月10日～2019年4月8日）の決算を迎えました。皆様のご愛顧、ご支援に対しまして厚く御礼申し上げますとともに、第10期の投資環境、運用状況、今後の市場見通し等について、ご報告いたします。

1. 第10期の投資環境と基準価額の推移

国内株式市場は、米中貿易摩擦の激化に伴う世界経済の悪化が意識され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、期首から2018年12月下旬にかけて下落しました。その後期末にかけては、米国の利上げ観測が後退し、米国経済に対する先行き不透明感が和らいだことや、中国の景気指標の改善などを背景に、国内株式市場は持ち直す動きとなりました。

外国為替市場では、米中貿易摩擦の激化に伴う世界経済の悪化が懸念される中、米国の長期金利が低下したことなどから、期首から2019年1月初めにかけて円高・米ドル安が進行しました。その後期末にかけては、世界的な景気減速に対する懸念が和らぎ、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、円安・米ドル高に転じました。

このような市場環境の中、第10期の基準価額は、米ドル投資型は期首の10,993円から期末には9,755円となり、円投資型は期首の10,709円から期末には9,519円となりました(図表1)。

2. 第10期の運用状況

主要投資対象である「日本優良成長株マザーファンド」においては、中期的なROE(自己資本利益率)の向上余地などに着目し、銘柄を選別しました。自動車向け電子部品の中期的な売上拡大が期待された村田製作所や事業承継ニーズの高まりなどを背景にM&A仲介事業の成長が見込まれた日本M&Aセンターなどを新規に組み入れました。一方、当面の好業績が株価に織り込まれたと判断したソニーやリクルートホールディングスなどを売却しました(図表2)。

マザーファンドの基準価額の変動要因では、キーエンス、ペプチドリーム、信越化学工業などがプラスに寄与した一方、SBIホールディングス、ソニー、三菱商事などがマイナスに影響しました(図表3)。

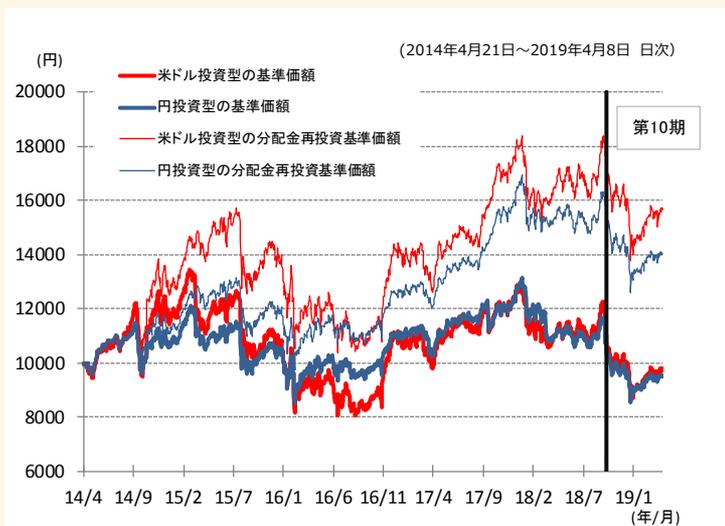
3. 今後の市場見通しと運用方針

今後の国内株式市場は、底堅い展開が想定されます。足元の企業業績の悪化は、概ね株価に織り込まれたと考えられるほか、中国の景気指標の改善や米中貿易摩擦に対する懸念の後退などが株価の支援材料になるとみられることから、国内株式市場は戻り歩調で推移すると予想されます。

当ファンドの運用につきましては、中国の景気回復による業績面での恩恵が見込まれる銘柄や、独自の競争優位性を持ち、持続的な業績拡大が、展望できる銘柄等に着目した運用を行う方針です。

今後も、主にROEや売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目した銘柄の選別を進め、ファンドのパフォーマンス改善に努めてまいります。

図表1 設定来の基準価額の推移



※上記のグラフの基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。
※設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本です。
※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

図表2 主な売買銘柄

買付銘柄	売却銘柄
村田製作所	ソニー
ペプチドリーム	リクルートホールディングス
日本M&Aセンター	三井物産

(期間)第10期 2018年10月10日～2019年4月8日

図表3 基準価額に寄与した主な銘柄

プラス寄与	マイナス影響
キーエンス	SBIホールディングス
ペプチドリーム	ソニー
信越化学工業	三菱商事

(期間)第10期 2018年10月10日～2019年4月8日

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式**
運用状況

(作成基準日：2019年4月8日)

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	9,755円	9,519円
純資産総額	5,647,616,376円	679,819,259円

※基準価額は1万口当たりです。

	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	91.9%	92.2%
マザーファンド	94.6%	94.8%
為替予約比率	94.2%	---

※株式組入比率は、日本優良成長株マザーファンドを通じた株式の実質組入比率です。

※為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

	日本優良成長株マザーファンド
株式組入比率	97.2%
組入銘柄数	53銘柄

※株式組入比率は日本優良成長株マザーファンドにおける株式の組入比率です。

設定来の分配金の推移			
決算期	決算日	米ドル投資型	円投資型
第1期	2014/10/6	1,000円	500円
第2期	2015/4/6	1,600円	1,000円
第3期	2015/10/6	400円	0円
第4期	2016/4/6	0円	0円
第5期	2016/10/6	0円	0円
第6期	2017/4/6	0円	300円
第7期	2017/10/6	1,100円	1,100円
第8期	2018/4/6	600円	900円
第9期	2018/10/9	800円	600円
第10期	2019/4/8	0円	0円
設定来合計		5,500円	4,400円

※分配金は1万口当たり、税引前です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	電気機器	12.9 %
2	情報・通信業	12.7 %
3	化学	9.9 %
4	卸売業	8.9 %
5	サービス業	7.2 %
6	陸運業	7.1 %
7	医薬品	6.8 %
8	機械	5.6 %
9	建設業	5.2 %
10	精密機器	4.3 %

※業種、銘柄の各構成比は、日本優良成長株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※当ファンドの運用は、マザーファンドを通じて行っております。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	構成比
1	東京海上ホールディングス	4.0 %
2	ユニ・チャーム	4.0 %
3	アンリツ	3.2 %
4	三菱商事	3.2 %
5	村田製作所	3.0 %
6	ソフトバンクグループ	3.0 %
7	ペプチドリーム	2.8 %
8	HOYA	2.6 %
9	中外製薬	2.6 %
10	スズキ	2.6 %

スマートジャパン ファンドの特色

- 日本優良成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます）株式のうち、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
 - 投資候補銘柄の選定にあたっては、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目します。
 - ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。
 - 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。
 - 「米ドル投資型」については、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等を行い、米ドルへの投資効果を楽しむことを目指します。純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引等の額は、原則として高位とすることを基本とします。
 - 「円投資型」については、外国為替予約取引等は行いません。
- ※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン（米ドル投資型）/（円投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式**

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
「米ドル投資型」と「円投資型」の各ファンド間でのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、購入時手数料の一部または全部の割引を受けられる場合があります。
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時 換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

2019年4月12日

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
西日本シティIT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)